

コウナゴ漁期前調査結果

宮城県水産技術総合センター

平成 31 年 3 月 13～15 日のコウナゴ分布

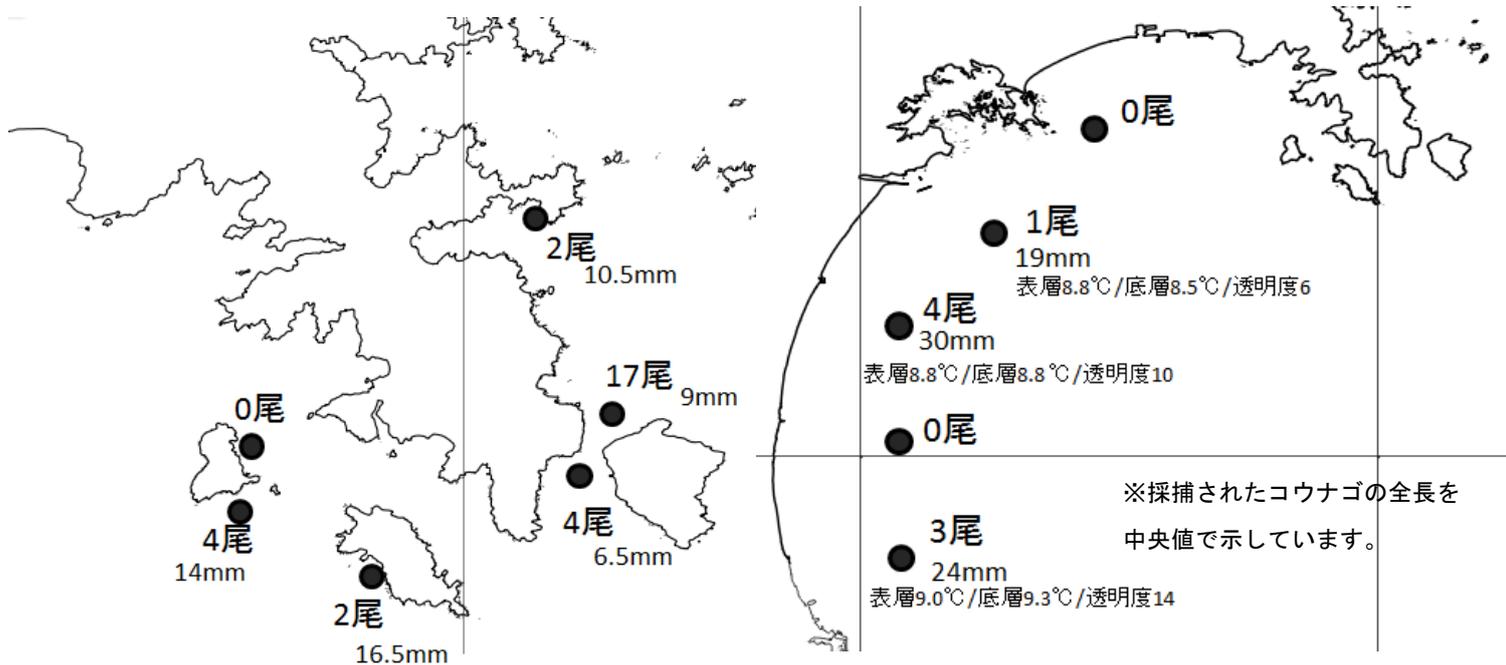


図 1 牡鹿半島周辺海域（開洋）と仙台湾（みやしお）の分布調査結果

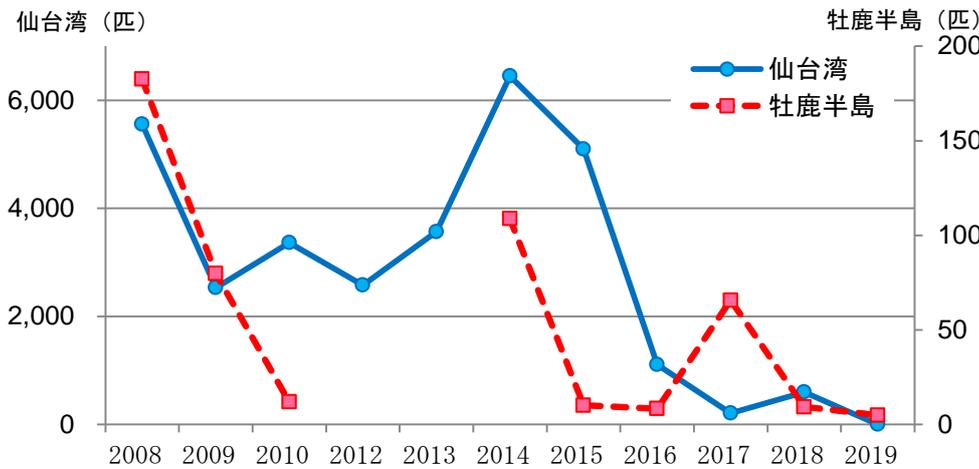


図 2 調査点あたりの平均採集数の変遷

平成 31 年 3 月 13 日と 15 日に、それぞれ県調査船「開洋」「みやしお」によるコウナゴ分布調査を行いました。調査方法は仙台湾内 5 調査点において網口開口板を使用した中層曳網（水深 10m 層 10 分曳）、牡鹿半島周辺海域 6 調査点において小型中層曳網（表中層 10 分曳）を用いました。

牡鹿半島周辺海域では調査点あたりの平均採集数は 4.8 尾となり、昨年の 9.3 尾を下回って過去最低記録である 2016 年の 8.3 尾よりも低い水準となりました。仙台湾では調査点あたりの平均採集数は 1.6 尾となり、昨年の 598 尾より大きく減少し、2017 年の 210 尾を下回って過去最低となりました。魚体は昨年と比べ小型になっています。また、黒潮系暖水の波及が強く、仙台湾内の水温は表層 8.8～9.0°C、底層 8.5～9.3°C と例年と比べ高めで推移しています。

情報はこちらでも公開しています。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc>

